異端の家庭連合と正統のサンクチュアリ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　鮮文大学校名誉教授　 　　　　　柳在坤

Ⅰ．エマヌエル・スウェーデンボルグの証言

　　（スウェーデン人。自然科学、数学、物理学、哲学、心理学など20もの学問分野で、多くの業績を上げた天才であると同時に、巨大な霊能力の所有者としとも世界中に知られる。1747年、後半生の約30年間、心霊的な生活と霊界の研究に没頭した。生きながら霊界に出入りする「霊的生涯」を送り、ヨーロッパ中の大きな話題を集めた。）

　　神様が堕落した人類の救済のために、メシア（救世主）としてこの地上に送られた方は、

　　　　イエス・キリスト（第2アダム）と

　　　　文鮮明（再臨主、第3アダム）

の二方のみである。

韓鶴子さんは、自分がメシア（救世主）であり、神であり、絶対権力者であることを宣言しました。すなわち、韓鶴子さんは自分自身を神様とキリストとメシアの位置に置きました。

彼女はその資格を得るために霊界と地上界で何を成し遂げたのでしょうか。彼女はそのために何も成し遂げていません。

韓鶴子さんはイエス様に出会っていません。文鮮明氏はイエス様に出会いました。

韓鶴子さんはエバを復帰していません。文鮮明氏はエバを復帰しました。

韓鶴子さんはメシアを殺そうとするサタンの勢力からの繰り返される攻撃を受けませんでした。文鮮明氏だけが再臨主であり、メシアの責任を果たしました。

文鮮明氏は文亨進氏を彼の代身者、相続者、後継者の宣言をしています。

私、エマヌエル・スウェーデンボルグは、韓鶴子さんに、文鮮明氏が戴冠した彼女の息子の文亨進さん夫婦のもとに戻ることを懇願します。

文亨進さんは地上の誰よりも韓鶴子さんを愛しています。私はそれを霊界から見て知ることができます。彼の母に対する愛は無限です。私は他のどの息子にもそのことを見ることができません。

Ⅱ．エバと韓氏オモニの霊的堕落と肉的堕落

１．エバと天使長ルーシェルとの霊的堕落

エバとアダムとの肉的堕落

その結果、子孫がすべて堕落した。－＞地上地獄から地上天国に

救いの方法

神様から人類のメシア（救世主）として来られたイエス様が十字架にかけられたが、霊的な救いをなした。

神様から再臨主として来られた文鮮明氏が、韓鶴子氏と1960年、ご成婚式を執り行い、真の夫婦として勝利し、真の家庭を完成した。

聖酒式を通して堕落した血統圏を神側の血統圏に転換し、地上天国を建て、その結果、霊界において天上天国を築こうとした。

勝利された真の御父母様の聖酒を飲まなくても、地上で善人であるとか、良心的に生きた人たちも霊界で天国に行けるように道を開いた。

２．韓氏オモニの霊的堕落

文鮮明氏が韓氏オモニに、「韓氏を自慢してはいけない」、「金孝南氏と深い関係を持ち過ぎるな」と促された。

ところが、2012年1月18日、天正宮において、金孝南氏が主礼をし、韓氏オモニと**ある神**との結婚式が行われました。神様（唯一神）ではありません。

翌日の1月19日、訓読会で真のお父様は韓氏オモニと4人の指導者を立てて、自分に絶対的に従うということをもう一度誓いをするようにされました。尹晶老、石俊昊、金孝律、黄善祚のこの4人がお母様と一緒にお父様の前に立って、絶対服従を宣誓するようにされました。お父様はまた別に行動すれば、滅び、死ぬだろうというお話もされました。

お母様がただお父様について回りながら、一緒に食べて、一緒に付いて行っているからと言って、自動的に真の母になるのではない。別に行動すれば滅びるだろう。死ぬであろう。死と滅亡が来るだろう。

お父様は完成級の成婚式を1年延期されましたが、お父様はその前に霊界にいかれました。

「お母様は私が育ててきました。お母様はいません。文総裁の妻の席もありません。自分勝手です。自分勝手。」

３．韓氏オモニの肉的堕落

　み言葉選集第614巻141ページ（2009年オリジナル版）

　「オモニが堕落したのだから、自分で責任を持たなければならない。ふらふらしている女たらしの男にはできないのだ」

　「オモニが堕落した┅」と書かれたのはお父様の愛からである。

　韓氏オモニが肉的堕落をした相手は、「ふらふらしている女たらしの男」である。韓氏オモニが救われるためには、韓氏オモニが悔い改めの条件を立てて、2代王の文亨進様，妍雅様を主礼とした、「お父様の権威に戻る祝福」を受けなければならない。

Ⅲ．韓氏オモニが、金孝南氏の主礼で、唯一神の神様でない**ある神**との結婚式を挙げた。（２０１２年１月１８日、於天正宮）

この結婚式を挙げることによって韓氏オモニの主体者が、真のお父様（文鮮明氏）でなく**ある神**、すなわち天使長、サタンであることを受け入れたのである。真のお父様に侵入できなかったサタンは、韓氏オモニ及びご子女様に侵入する隙を狙っていた。（霊的堕落）そして、韓氏オモニは４人の幹部とともに真のお父様に絶対服従を宣誓したにもかかわらず、肉的堕落によって「サタンの侍女」となり下がったのである。

（韓氏オモニの改竄（ざん））

**1.　神様の名前を消した。**

　　家庭盟誓から神様（하나님）を真の父母様（참부모님）に変えた。

　　神様（唯一神）は真の父母様の姿として顕われることができるが、真の父母様と＝ではない。

**２．お父様について全く言及がない。**

　　韓氏オモニは、清平の天正宮を造ったのは真のお父様でなく、自分の母である大母様（洪順愛）であると主張しています。今、霊界で大母様は、 韓氏オモニが堕落して真のお父様の下を離れてサタンの侍女に成り下がっていることを痛切に悲しんでいます。

**３．８大教材・教本を無くし、韓氏オモニの３種類の経典に変えた。**

　　８大教材・教本とは、『文鮮明先生말씀（御言）選集』、『原理講論』、『天聖経』、

『家庭盟誓』、『平和神経』、『天国を開く門　真の家庭』、『平和の主人、血統の主人』、

『世界経典』をさす。

　　　８大教材・教本は、真の父母様の遺言であり、神様と出会う道である。

　　それに対して、韓氏オモニが編纂させた３冊の本は、赤い表紙の『天聖経』、『真の父母経』、『平和経』の３冊である。

　　編纂の趣旨は、

1. お父様がメシア（救世主）であることを強調しない。
2. 堕落論を強調しない。

③ 霊界論を削除する。

　　編纂委員長は３６家庭の金栄輝会長、副委員長は３６家庭の李戴錫会長と金孝律補佐官で、編纂に直接にかかわったのは、鮮文大学校神学科及び清平の清心大学院の総長及び教授たち。

　**４．偽聖酒を普及させている。**

　　基元節の時、また、四大聖物として「祝福」という名目で家庭連合の食口に飲ませて、完全に真のお父様、再臨のイエス様の血統を断絶させました。すなわち、生命の木にあずかるところまで行った者たちを、堕落の血統へと転換させてしまいました。

　　偽聖酒を飲んだ祝福家庭を堕落家庭に、祝福を受けた人間を堕落人間に変えています。

　　「神氏族メシア」活動で、４３０双を祝福して「神」の血統書に記録されようと豪語しています。偽聖酒で４３０双の堕落人間を生むのだから、まさに「地獄の記録書」に登録されるのかもしれません。

**５．「アボジは、私でなければ、清平にだけに来る」と韓氏オモニが発言した。**

　　実際は真逆である。アボジは韓氏オモニと清平、とりわけ天正宮だけには絶対に来ないのである。無原罪独生女であり、メシアであり、神であると主張し、天一国国歌を変えた韓氏オモニはアボジの相対ではなく、霊的、肉的堕落によってサタンの侍女となり下がった所に、アボジの気性から見ても絶対に行かれないのである。

　韓氏オモニは過去に移したビデオやスナップ写真を巧妙に駆使して、真の父母観を演出しているが、それはどこまでも過去の幻想である。

　「真の父母」という名称は、アボニム初代王とオモニムが第２代王として３度も戴冠式が行われた代身物、相続者、後継者としての文享進様と妍雅様に譲位されたものである。したがって、韓氏オモニは「真の父母」という名称を使用する資格も権限もない。

**６．今、家庭連合は、お父様が正式の場で任命した後継者を排斥し、否定しています。**

　　万王の王、平和王であるお父様の後継者の資格は「**血統**」です。

　　それに対して、韓氏オモニはある最高委員会を任命し、今後、最高委員会を、委員会を中心として統一教会を統治すると主張しています。韓氏オモニ側は、代身者、後継者、相続者として２代王を否定して、私たちは「法統」であり、思い通りにやると主張しています。

**７．清平修練苑での役事は、霊界の先祖たちを解怨するが、祝福という儀式においては象徴的に「偽聖酒」を飲ませることによって堕落させている。**すなわち、先祖たちを明確に地獄に送っているのである。

　　真のお父様の聖和後、「偽聖酒」をもっての先祖祝福は不可能である。

　　２１０代（４家系）までの先祖解怨と先祖祝福は、代身者、後継者、継続者の２代王様の文亨進様だけが主管しています。

**８．家庭連合での聖和式は地獄に送る行事である。**

　　聖和式は、本来は神様と真のお父様の住んでいる天国に送るべき行事であったが、「偽聖酒」によって地獄に送る行事に代わってしまった。

Ⅳ．イスラエルと韓国

　イエス・キリストが無実の罪で十字架にかけられた後、まさに４０年後、ローマ軍がイスラエルの国に侵略し、国を奪いそこに住むイスラエルの民を皆殺しにした。

　救われたのは、復活したイエス様を信じて伝道に出たイスラエルの民と、商売で国を出ていた一部のイスラエル人たちだけだった.

 国を亡くしたイスラエルの民の亡国の悲劇の歴史が始まる。

　２０世紀ナチス・ヒットラーの時代、６００万人のユダヤ人だちがアウシュビッツで虐殺されたのは、ローマ総督ピラトの前で、罪のあるバラバを釈放し、罪のないイエス・キリストを十字架にかけろと叫んだ責任を自分たちと子孫が負うと答えたからであった。

　　シンドラーによってビザを与えられたヨーロッパにいたユダヤ人たち、また、当時、リトアニア国の日本の外交官であった杉浦千畝によってビザを与えられたユダヤ人たちは日本を通じて自由の天地であるアメリカに渡って行った。

　１９４８年８月１５日、大韓民国が建国された同じ年に、イスラエル国が建国された。

　真のお父様は、韓国を「神の祖国、信仰の祖国」と宣言された。

　神様の念願であった「天一国」は韓国から始められる立場にあった。

　ところが、韓国はいまや「亡国の国」になる寸前まで来ているのである。